

10/28 宇宙教育指導者セミナー（弘前会場）

公益財団法人日本宇宙少年団と JAXA 宇宙教育センターでは、18歳以上の方で、これから宇宙教育活動を行いたい方、宇宙教育における基礎知識を学びたい方を対象に宇宙教育指導者セミナーを開催しています。

弘前会場の特徴として、「衛星データを宇宙教育で活用する。衛星データを活用した実践の紹介」「身近な材料を用いた地球回転ゴマの製作」「宇宙教育団体運営のノウハウ」について紹介・実習を行います。

宇宙教育指導者セミナーを始めて開催する弘前の地で、いつでも、どこでも、だれでも展開できる宇宙教育活動の在り方を大いに語り合しましょう。

<主催>

JAXA 宇宙教育センター、公益財団法人日本宇宙少年団

<開催日時>

2018年10月28日（日） 9:50～16:30（受付9:30～9:50）

申込み締切り：2018年10月18日（木）＊定員になり次第締切ります

<開催場所>

弘前市立中央公民館（弘前文化センター内） 3F 視聴覚室

住所 青森県弘前市下白銀町19-4

<対象>

高校生を除く18歳以上の方で、宇宙教育に関心がある、またはすでに宇宙教育教材等を活用して青少年育成活動を実践している方。

<募集人数>

40名

<予定プログラム>

時間	プログラム / 内容詳細
9:30～	受付
9:50～	開講式
10:00～10:40	講座1：「宇宙教育について」とは 宇宙教育の理念や望ましい指導者像等ついて、各地の社会教育団体での実践例を紹介しながら、宇宙教育の特質や大切にしていることを紹介します。
10:50～12:05	講座2：「衛星データ分析ソフト EISEI について」実習 社会教育における衛星データ活用を可能とする衛星データ分析ソフト EISEI を実習します。 どのような場面で、どのように衛星データが活用できるか、そのためにはどのような工夫が必要なのかを検討します。 ・無償で使用できるランドサットやセンチネル2、ひまわり8データを題材にします。 ・社会教育で衛星データを活用するときの導入教材を紹介します。 ・1台のパソコンデータを投影したり、印刷配布して展開する事例も紹介します。
12:05～12:50	昼食・休憩
12:50～14:05	講座3：「衛星データ活用の実践」 衛星をどのように活用するか各地の実践例を紹介したり、衛星データ入手方法を紹介します。 ・国土地理院の関連サイトや気象協会サイト等の活用を紹介します。 ・産総研や USGS サイト等の活用方法を紹介します。 ・標高データを防災教育に活用する実習もします。
14:10～14:50	講座4：「宇宙教育を活動団体の運営」 社会教育で宇宙教育を展開する活動団体の望ましい運営の具体を検討します。 ・魅力的な活動計画の立案、豊かな指導者群のサポート、参加の呼びかけ等のノウハウ等を紹介します ・宇宙活動団体の望ましいあり方を討論しましょう。
15:00～16:20	講座5：「水沢Z分団の教材紹介」－地球回転ゴマ－ 身近な材料を用いて私たちの地球の動きを考えることができる教材を製作します。 ・コマに重力がかかった時に、軸を上に向けるようなを与えるコマがあれば、地球と同じように首振り運動するはずですが。 ・力を受ける軸をコマの重心より上になるようにすると、傾いたときに、ヤジロベエのように、軸を上に向けるような力が働きます。ここでは、このコマを地球回転ゴマと呼ぶことにします。
16:20～16:30	閉講式

<備考>

講座2、3ではパソコンの実習を行います。ノートパソコンをご用意ください。

充電済みのノートパソコン（Windows7、8、10のいずれか）

また、Windows Update（更新プログラムの利用）を長期間されていない場合、衛星データ分析ソフトの起動に必要なプログラムが入っていないことがありますので、使用されるパソコンの、更新プログラムを事前にインストールいただけますようお願いいたします。

分析ソフトや実習データ等は当日にUSBメモリ経由で配布します。

主催者側では予備のノートパソコンはご用意できません。ご持参にならない方は、お知り合いの方などと一緒に受講いただくこととなります。

お知り合いの方のお名前をお伝え下さい。

ネットワーク接続用の携帯端末を持参可能な方は、衛星データ入手方法説明時に活用下さい。

地図帳などの地図を持参可能な方は、ご持参いただくと衛星データの理解に活用いただけます。

講座5では、黒を含めた3～4色の色鉛筆、セロハンテープ、はさみをご持参ください。

セミナーを受講された方は宇宙教育リーダーとして登録され、宇宙教育センターのお送りする情報や、教材の貸出などのサービスを受けることができます。